
業績ハイライト

— 平成26年3月期中間決算について —



目 次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	3
3. 貸出金の状況	…	4
4. 預金の状況	…	5
5. 預かり資産の状況	…	6
6. 有価証券の状況	…	7
7. 金融再生法開示債権の状況	…	8
8. 経営指標	…	10
9. 平成26年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	25年3月期		
			前年同期比	増減率	
連結経常収益	-	21,130	-	-	33,838 (参考)
連結経常利益	-	3,197	-	-	2,036
連結中間純利益	-	3,153	-	-	1,950

○ じもとホールディングスの連結経常収益は211億30百万円、連結経常利益は31億97百万円、連結中間純利益は31億53百万円となりました。

(2) 2行合算

(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	25年3月期		
			前年同期比	増減率	
経常収益	22,120	21,073	△ 1,047	△ 4.7	43,727
業務粗利益	16,591	16,366	△ 225	△ 1.3	33,937
資金利益	15,083	15,150	66	0.4	30,436
役務取引等利益	1,199	1,299	99	8.3	2,738
その他業務利益	308	△ 82	△ 391	-	761
うち国債等債券損益	303	△ 90	△ 394	-	506
経費(除く臨時処理分)	12,957	13,077	120	0.9	25,595
うち人件費	6,242	6,246	3	0.0	12,492
うち物件費	6,041	6,095	53	0.8	11,744
業務純益(一般貸倒繰入前)	3,634	3,288	△ 346	△ 9.5	8,342
コア業務純益	3,330	3,378	48	1.4	7,835
一般貸倒引当金繰入額	△ 54	△ 206	△ 151	-	△ 734
業務純益	3,689	3,494	△ 194	△ 5.2	9,076
臨時損益	△ 949	△ 72	877	-	△ 5,502
うち不良債権処理額	694	489	△ 204	△ 29.5	2,762
うち個別貸倒引当金繰入額	224	280	56	25.2	1,158
うち貸倒引当金戻入益	1,092	995	△ 97	△ 8.9	2,130
うち株式等関係損益	△ 264	94	359	-	△ 498
経常利益	2,739	3,422	682	24.9	3,573
特別損益	△ 83	△ 51	31	-	△ 157
中間純利益	2,700	3,251	551	20.4	3,424
与信関係費用	△ 479	△ 714	△ 235	-	△ 134

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比10億47百万円減少の210億73百万円(増減率△4.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益の増加等により、前年同期比48百万円増加の33億78百万円(増減率1.4%)となりました。
- 経常利益は前年同期比6億82百万円増加の34億22百万円、中間純利益は前年同期比5億51百万円増加の32億51百万円となりました。

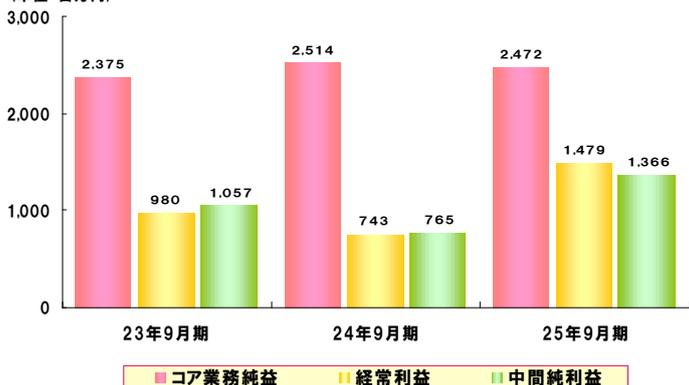
1. 損益の状況

(3) きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	前年同期比		25年3月期 (参考)
			増減額	増減率	
経常収益	12,913	12,177	△ 735	△ 5.6	25,975
業務粗利益	10,288	9,776	△ 511	△ 4.9	21,412
資金利益	9,577	9,312	△ 264	△ 2.7	19,352
役務取引等利益	564	649	85	15.0	1,396
その他業務利益	145	△ 186	△ 331	-	664
うち国債等債券損益	143	△ 191	△ 334	-	414
経費(除く臨時処理分)	7,630	7,495	△ 134	△ 1.7	14,890
うち人件費	3,775	3,840	64	1.7	7,541
うち物件費	3,481	3,286	△ 195	△ 5.6	6,608
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,658	2,281	△ 376	△ 14.1	6,522
コア業務純益	2,514	2,472	△ 42	△ 1.6	6,108
一般貸倒引当金繰入額	△ 54	△ 206	△ 151	-	△ 734
業務純益	2,713	2,487	△ 225	△ 8.3	7,256
臨時損益	△ 1,969	△ 1,008	960	-	△ 6,112
うち不良債権処理額	653	431	△ 221	△ 33.9	2,649
うち個別貸倒引当金繰入額	224	280	56	25.2	1,158
うち株式等関係損益	△ 181	△ 15	166	-	△ 112
経常利益	743	1,479	735	98.9	1,143
特別損益	△ 13	△ 19	△ 6	-	△ 29
中間純利益	765	1,366	601	78.5	1,073
与信関係費用	598	222	△ 375	△ 62.8	1,915

(単位:百万円)

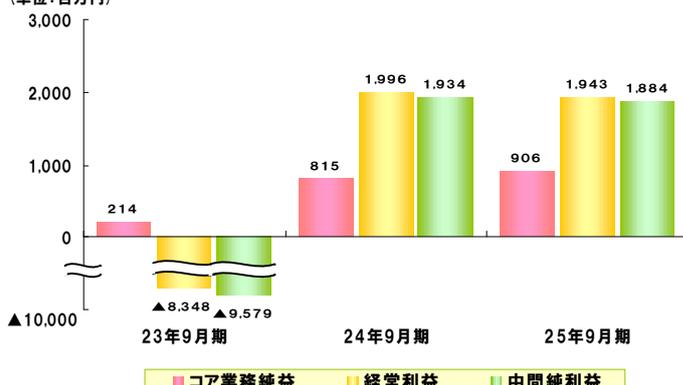


(4) 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	24年9月期	25年9月期	前年同期比		25年3月期 (参考)
			増減額	増減率	
経常収益	9,207	8,895	△ 311	△ 3.3	17,751
業務粗利益	6,303	6,589	286	4.5	12,524
資金利益	5,505	5,837	331	6.0	11,084
役務取引等利益	634	649	14	2.2	1,342
その他業務利益	163	103	△ 59	△ 36.6	97
うち国債等債券損益	160	100	△ 59	△ 37.1	92
経費(除く臨時処理分)	5,326	5,582	255	4.8	10,704
うち人件費	2,466	2,406	△ 60	△ 2.4	4,951
うち物件費	2,559	2,808	249	9.7	5,135
業務純益(一般貸倒繰入前)	976	1,007	30	3.1	1,820
コア業務純益	815	906	90	11.0	1,727
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-
業務純益	976	1,007	30	3.1	1,820
臨時損益	1,019	936	△ 83	△ 8.1	609
うち不良債権処理額	40	57	16	41.3	112
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	1,092	995	△ 97	△ 8.9	2,130
うち株式等関係損益	△ 83	109	192	-	△ 385
経常利益	1,996	1,943	△ 52	△ 2.6	2,429
特別損益	△ 69	△ 32	37	-	△ 128
中間純利益	1,934	1,884	△ 49	△ 2.5	2,350
与信関係費用	△ 1,077	△ 937	140	-	△ 2,049

(単位:百万円)

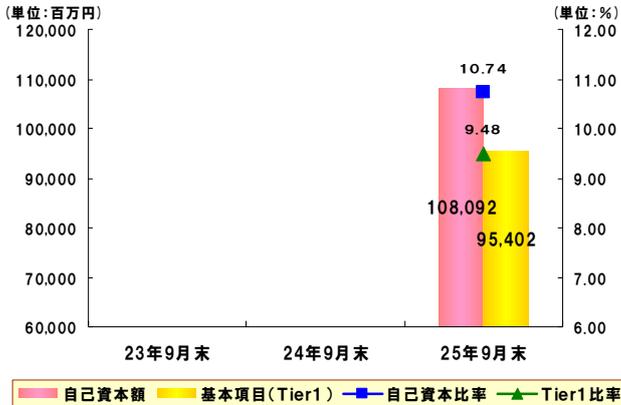


- 経常収益は、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加したものの、貸出金利息が減少したことなどから、前年同期比7億35百万円減少の121億77百万円(増減率△5.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が増加し、物件費は減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比42百万円減少の24億72百万円(増減率△1.6%)となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比3億75百万円減少の2億22百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比7億35百万円増加の14億79百万円、中間純利益は前年同期比6億1百万円増加の13億66百万円となりました。

- 経常収益は、有価証券利息配当金が増加したものの、貸出金利息や国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比3億11百万円減少の88億95百万円(増減率△3.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、平成25年5月のシステム移行に伴い物件費が増加したものの、資金利益が増加したことなどから、前年同期比90百万円増加の9億6百万円(増減率11.0%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益9億95百万円の計上により、9億37百万円の戻入れとなりました。
- この結果、経常利益は前年同期比52百万円減少の19億43百万円、中間純利益は前年同期比49百万円減少の18億84百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

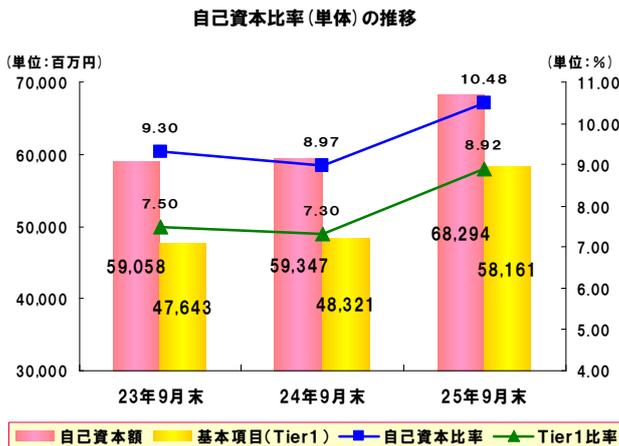
(1) じもとホールディングス連結



○ じもとホールディングスの連結自己資本比率は10.74%、Tier1比率は9.48%となりました。

(単位:%)					
	23年9月末	24年9月末	25年9月末	23年9月末比	24年9月末比
連結自己資本比率	-	-	10.74	-	-
Tier1比率	-	-	9.48	-	-

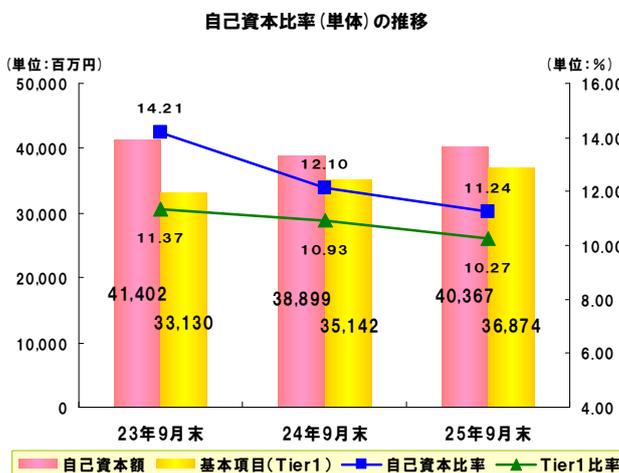
(2) きらやか銀行



○ 単体自己資本比率は、リスクアセットが減少したことや、24年12月に震災特例の金融機能強化法に基づく資本増強を実施したことから、24年9月末比1.51ポイント上昇し10.48%となりました。

(単位:%)						
		23年9月末	24年9月末	25年9月末	23年9月末比	24年9月末比
単体	自己資本比率	9.30	8.97	10.48	1.18	1.51
	Tier1比率	7.50	7.30	8.92	1.42	1.62
連結	自己資本比率	9.33	9.12	10.67	1.34	1.55
	Tier1比率	7.51	7.44	9.10	1.59	1.66

(3) 仙台銀行

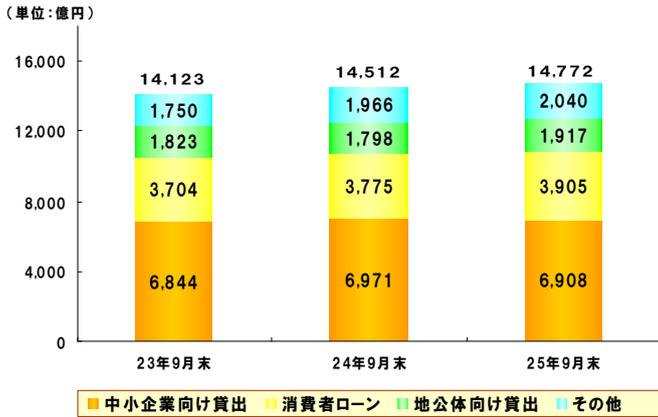


○ 単体自己資本比率は、中間純利益18億84百万円の計上により自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、24年9月末比0.86ポイント低下の11.24%となりました。

(単位:%)						
		23年9月末	24年9月末	25年9月末	23年9月末比	24年9月末比
単体	自己資本比率	14.21	12.10	11.24	△ 2.97	△ 0.86
	Tier1比率	11.37	10.93	10.27	△ 1.10	△ 0.66
連結	自己資本比率	13.99	11.91	11.08	△ 2.91	△ 0.83
	Tier1比率	10.95	10.57	9.96	△ 0.99	△ 0.61

3. 貸出金の状況

(1) 2行合算

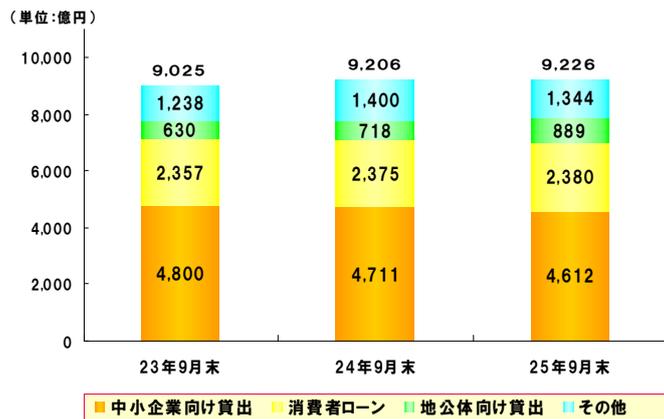


○ 2行合算の貸出金残高は、24年9月末比260億63百万円増加の1兆4,772億67百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,451,204	1,477,267	26,063	1.7
うち中小企業向け貸出残高	697,160	690,883	△ 6,277	△ 0.9
うち消費者ローン	377,521	390,573	13,052	3.4
うち住宅ローン	355,063	368,049	12,985	3.6
うち地方公共団体向け貸出	179,829	191,761	11,932	6.6

(2) きらやか銀行

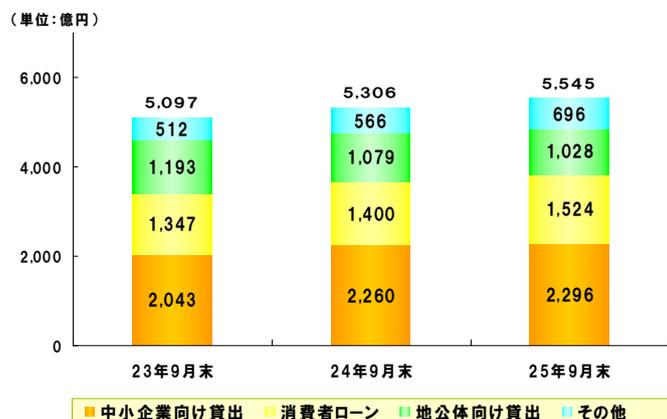


- 貸出金残高は、24年9月末比20億87百万円増加の9,226億88百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、24年9月末比98億86百万円減少の4,612億14百万円となりました。
- 消費者ローンは、24年9月末比5億72百万円増加の2,380億88百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、24年9月末比170億52百万円増加の889億45百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
貸出金(末残)	920,601	922,688	2,087	0.2
うち中小企業向け貸出残高	471,100	461,214	△ 9,886	△ 2.0
うち消費者ローン	237,516	238,088	572	0.2
うち住宅ローン	225,260	226,010	749	0.3
うち地方公共団体向け貸出	71,893	88,945	17,052	23.7

(3) 仙台銀行



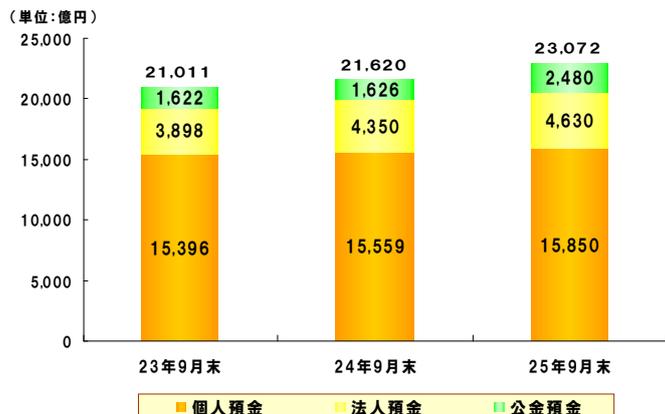
- 貸出金残高は、24年9月末比239億75百万円増加の5,545億78百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、24年9月末比36億9百万円増加の2,296億69百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出の増加により、24年9月末比124億80百万円増加の1,524億84百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、24年9月末比51億19百万円減少の1,028億16百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
貸出金(末残)	530,603	554,578	23,975	4.5
うち中小企業向け貸出残高	226,060	229,669	3,609	1.5
うち消費者ローン	140,004	152,484	12,480	8.9
うち住宅ローン	129,803	142,038	12,235	9.4
うち地方公共団体向け貸出	107,936	102,816	△ 5,119	△ 4.7

4. 預金(譲渡性預金を含む)の状況

(1) 2行合算

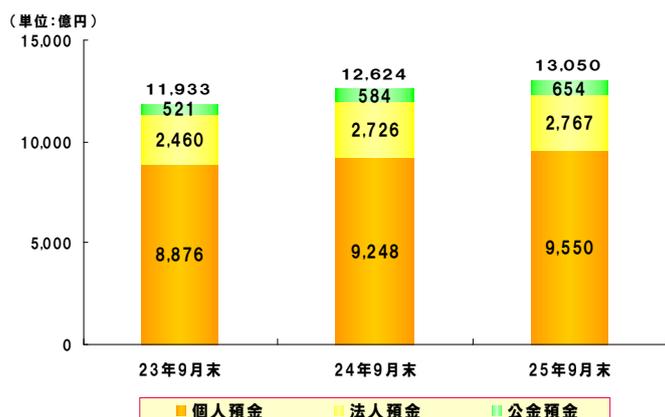


○ 2行合算の預金残高は、24年9月末比1,452億12百万円増加の2兆3,072億31百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	
			増減額	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,162,018	2,307,231	145,212	6.7
うち個人預金	1,555,974	1,585,085	29,110	1.8
うち法人預金	435,071	463,000	27,929	6.4
うち公金預金	162,651	248,041	85,389	52.4

(2) きらやか銀行



- 預金残高は、個人預金・法人預金・公金預金の全てが増加したことにより、24年9月末比425億95百万円増加の1兆3,050億7百万円となりました。
- 個人預金は、両行合同で実施したキャンペーン預金への預入増加などにより、24年9月末比301億43百万円増加の9,550億30百万円となりました。
- 法人預金は、震災以降、企業の手元流動性預金が増加していること等から、24年9月末比41億63百万円増加の2,767億70百万円となりました。
- 公金預金は、24年9月末比70億65百万円増加の654億80百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	
			増減額	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,262,412	1,305,007	42,595	3.3
うち個人預金	924,887	955,030	30,143	3.2
うち法人預金	272,606	276,770	4,163	1.5
うち公金預金	58,414	65,480	7,065	12.0

(3) 仙台銀行



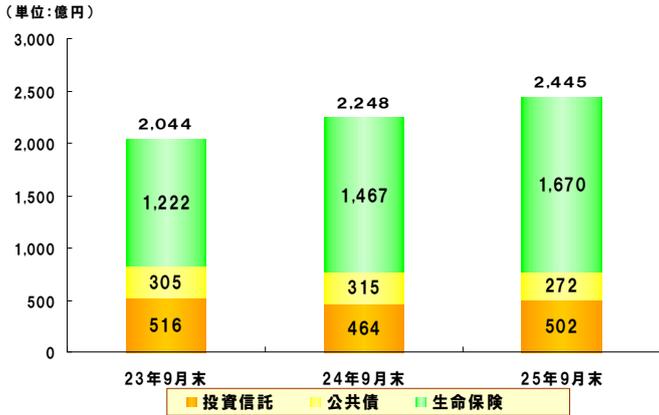
- 預金残高は、公金預金や法人預金の増加により、24年9月末比1,026億17百万円増加の1兆22億23百万円となりました。
- 個人預金は、5月のシステム移行に伴い一部預金科目の移動があったことなどから、24年9月末比10億32百万円減少の6,300億54百万円となりました。
- 法人預金は、上記要因や企業の手持資金の増加などにより、24年9月末比23億65百万円増加の1,862億30百万円となりました。
- 公金預金は、24年9月末比783億24百万円増加の1,825億61百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	
			増減額	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	899,605	1,002,223	102,617	11.4
うち個人預金	631,086	630,054	△1,032	△0.1
うち法人預金	162,464	186,230	23,765	14.6
うち公金預金	104,237	182,561	78,324	75.1

5. 預かり資産の状況

(1) 2行合算



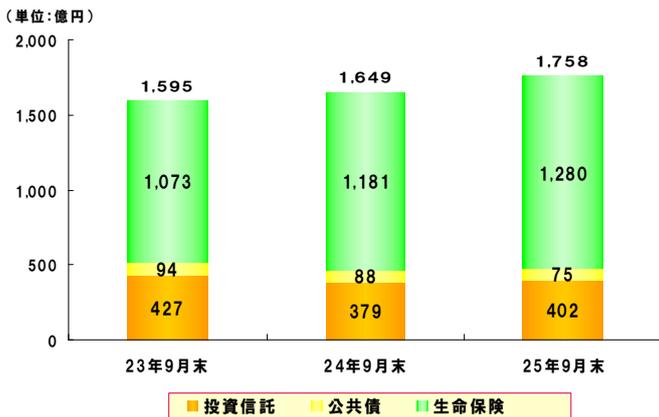
○ 2行合算の預かり残高は、24年9月比197億16百万円増加の2,445億40百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
預かり資産(末残)	224,823	244,540	19,716	8.7
うち投資信託	46,454	50,227	3,773	8.1
うち公共債(国債等)	31,589	27,295	△ 4,294	△ 13.5
うち生命保険	146,780	167,017	20,237	13.7

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

(2) きらやか銀行



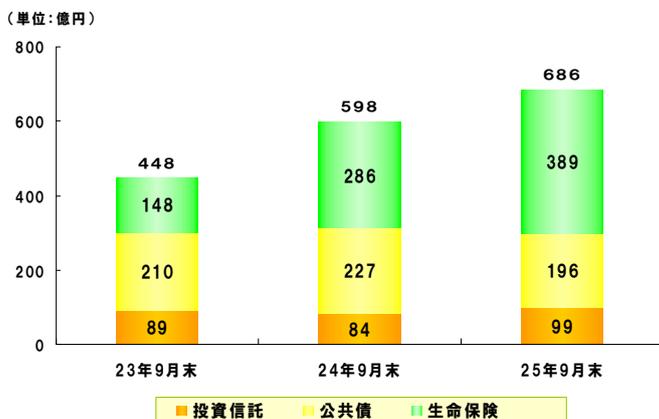
- 預かり資産残高は、24年9月末比109億37百万円増加の1,758億87百万円となりました。
- 投資信託は、株価上昇に伴う販売額の増加や基準価額の上昇などから、24年9月末比22億63百万円増加の402億50百万円となりました。
- 公共債は、24年9月末比12億26百万円減少の75億99百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様ニーズを取り込んだこと等から、24年9月末比99億1百万円増加の1,280億37百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
預かり資産(末残)	164,949	175,887	10,937	6.6
うち投資信託	37,987	40,250	2,263	5.9
うち公共債(国債等)	8,826	7,599	△ 1,226	△ 13.9
うち生命保険	118,135	128,037	9,901	8.3

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

(3) 仙台銀行



- 預かり資産残高は、24年9月末比87億78百万円増加の686億52百万円となりました。
- 投資信託は、株価上昇に伴う販売額の増加や基準価額の上昇などから、24年9月末比15億10百万円増加の99億77百万円となりました。
- 公共債は、24年9月末比30億67百万円減少の196億95百万円となりました。
- 生命保険は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により、24年9月末比103億35百万円増加の389億80百万円となりました。

(単位:百万円、%)

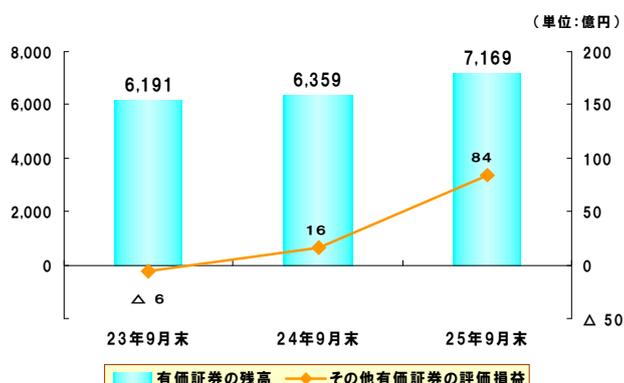
	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
預かり資産(末残)	59,873	68,652	8,778	14.6
うち投資信託	8,466	9,977	1,510	17.8
うち公共債(国債等)	22,762	19,695	△ 3,067	△ 13.4
うち生命保険	28,644	38,980	10,335	36.0

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

6. 有価証券の状況

(1) 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、24年9月末比810億38百万円増加の7,169億87百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、24年9月末比67億94百万円改善し、84億82百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

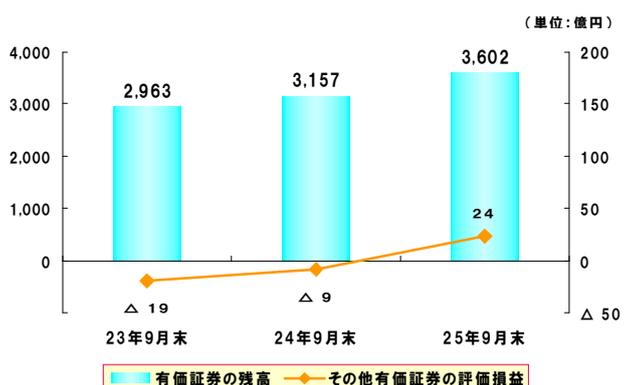
	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
有 価 証 券	635,948	716,987	81,038	12.7
国 債	199,830	237,739	37,908	18.9
地 方 債	91,574	93,741	2,167	2.3
社 債	250,802	290,867	40,065	15.9
株 式	17,266	20,342	3,076	17.8
そ の 他 証 券	76,475	74,296	Δ 2,178	Δ 2.8

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比
そ の 他 有 価 証 券	1,687	8,482	6,794
株 式	Δ 1,714	2,768	4,483
債 券	6,652	6,262	Δ 389
そ の 他	Δ 3,250	Δ 549	2,701

(2) きらやか銀行

- 有価証券残高は、預金残高が増加したことに伴い、債券を中心に運用したことから、24年9月末比445億25百万円増加の3,602億45百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い24年9月末比34億17百万円改善し、24億84百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

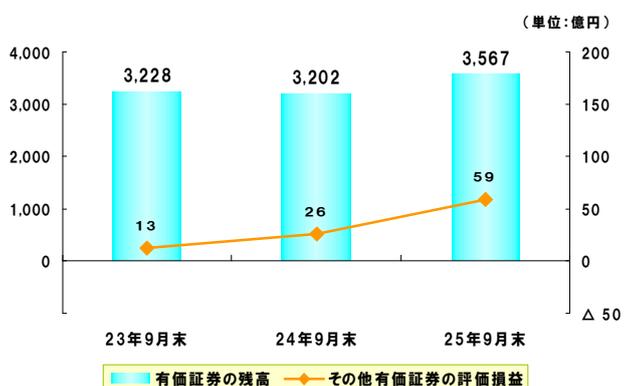
	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
有 価 証 券	315,719	360,245	44,525	14.1
国 債	90,944	133,308	42,364	46.5
地 方 債	30,845	29,154	Δ 1,691	Δ 5.4
社 債	130,181	140,260	10,079	7.7
株 式	10,935	11,459	524	4.7
そ の 他 証 券	52,813	46,062	Δ 6,751	Δ 12.7

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比
そ の 他 有 価 証 券	Δ 933	2,484	3,417
株 式	Δ 618	663	1,282
債 券	2,625	2,640	15
そ の 他	Δ 2,940	Δ 820	2,119

(3) 仙台銀行

- 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い社債や地方債等による運用額を増加したことなどから、24年9月末比365億12百万円増加の3,567億42百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い24年9月末比33億77百万円改善し、59億97百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比	増減率
有 価 証 券	320,229	356,742	36,512	11.4
国 債	108,885	104,430	Δ 4,455	Δ 4.0
地 方 債	60,728	64,587	3,858	6.3
社 債	120,621	150,607	29,986	24.8
株 式	6,331	8,882	2,551	40.2
そ の 他 証 券	23,662	28,234	4,572	19.3

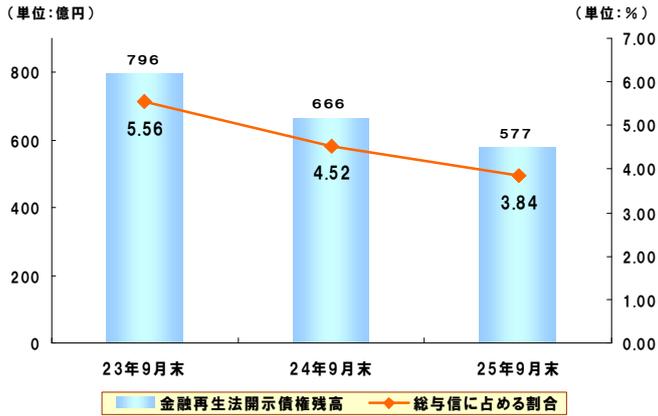
②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	24年 9月末	25年 9月末	24年 9月末比
そ の 他 有 価 証 券	2,620	5,997	3,377
株 式	Δ 1,095	2,105	3,200
債 券	4,026	3,621	Δ 404
そ の 他	Δ 310	270	581

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

(1) 2行合算



- 2行合算の金融再生法開示債権残高(要管理債権以下の合計額)は、24年9月末比89億42百万円減少の577億円となりました。
- 総与信額に対する比率は、24年9月末比0.68ポイント低下の3.84%となりました。
- 2行合算の金融再生法開示債権の保全率は、82.49%となりました。

①金融再生法開示債権残高

(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,739	7,630	△ 2,108
危険債権	52,049	45,969	△ 6,080
要管理債権	4,854	4,100	△ 754
合計(A)	66,643	57,700	△ 8,942
正常債権	1,404,773	1,441,125	36,352
総与信額(B)	1,471,416	1,498,825	27,409
(A/B)	4.52	3.84	△ 0.68

②金融再生法開示債権の保全状況(25年9月末)

(単位:百万円、%)

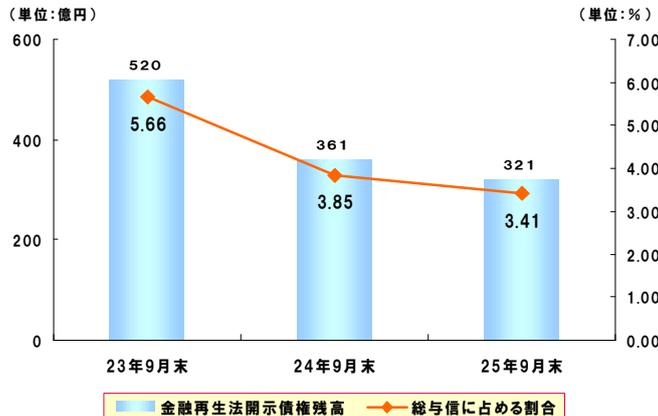
	債権額(A)	保全額(B)		保全率(B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,630	7,630	4,491	100.00
危険債権	45,969	39,232	5,749	85.34
要管理債権	4,100	739	370	18.02
合計	57,700	47,602	38,345	82.49

【参考】24年9月末

(単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)		保全率(B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,739	9,739	6,205	100.00
危険債権	52,049	44,704	37,972	85.88
要管理債権	4,854	1,052	566	21.66
合計	66,643	55,495	44,744	83.27

(2) -1 きらやか銀行



- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、24年9月末比39億54百万円減少の321億78百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、24年9月末比0.44ポイント低下の3.41%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、72.16%となりました。

①金融再生法開示債権残高

(単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,353	4,856	△ 497
危険債権	26,440	23,569	△ 2,871
要管理債権	4,339	3,753	△ 586
合計(A)	36,133	32,178	△ 3,954
正常債権	901,487	909,306	7,819
総与信額(B)	937,620	941,485	3,865
(A/B)	3.85	3.41	△ 0.44

②金融再生法開示債権の保全状況(25年9月末)

(単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)		保全率(B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,856	4,856	2,721	100.00
危険債権	23,569	17,808	14,828	75.55
要管理債権	3,753	556	227	14.83
合計	32,178	23,221	17,777	72.16

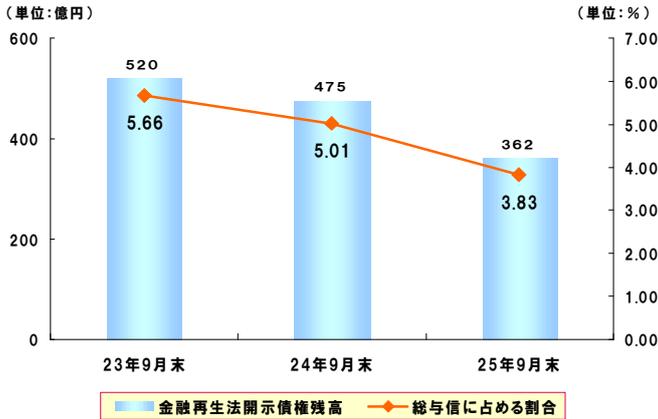
【参考】24年9月末

(単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)		保全率(B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,353	5,353	3,009	100.00
危険債権	26,440	20,047	17,788	75.82
要管理債権	4,339	777	355	17.90
合計	36,133	26,178	21,153	72.44

7. 金融再生法開示債権の状況

(2) -2 きらやか銀行(きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)【※】を含む)



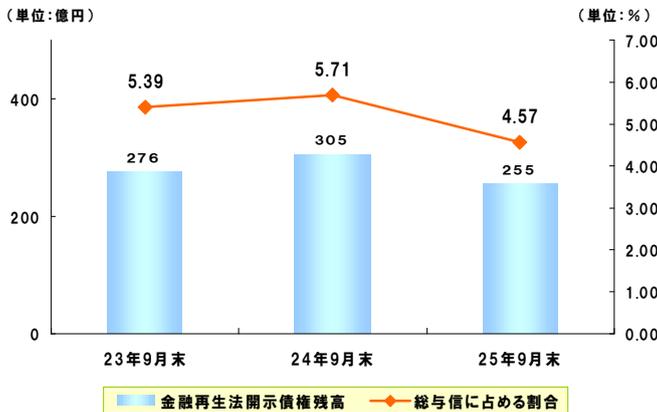
○ きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)も含めました金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、24年9月末比112億73百万円減少の362億94百万円となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,116	6,607	△ 1,508
危険債権	35,112	25,934	△ 9,178
要管理債権	4,339	3,753	△ 586
合計 (A)	47,568	36,294	△ 11,273
正常債権	901,639	909,306	7,667
総与信額 (B)	949,208	945,601	△ 3,606
(A / B)	5.01	3.83	△ 1.18

【※】きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)は、従来きらやか銀行事業再生部が所管する業務を、吸収分割の手法により移管させて設立した会社です。同社では、企業再生支援、債権管理、回収に関する業務などを日本政策投資銀行と共同で実施しております。

(3) 仙台銀行



○ 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、24年9月末比49億88百万円減少の255億21百万円となりました。

○ 総与信額に占める割合は、24年9月末比1.14ポイント低下の4.57%となりました。

○ 金融再生法開示債権の保全率は、95.52%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	24年9月末	25年9月末	24年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,385	2,774	△ 1,611
危険債権	25,609	22,399	△ 3,209
要管理債権	515	347	△ 167
合計 (A)	30,510	25,521	△ 4,988
正常債権	503,285	531,818	28,532
総与信額 (B)	533,796	557,340	23,544
(A / B)	5.71	4.57	△ 1.14

②金融再生法開示債権の保全状況(25年9月末)

(単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	賞倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,774	2,774	1,769	1,005	100.00
危険債権	22,399	21,423	18,655	2,768	95.64
要管理債権	347	182	143	39	52.51
合計	25,521	24,381	20,568	3,813	95.52

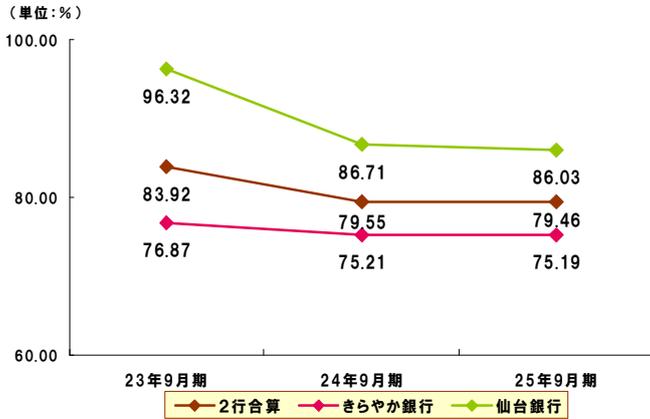
【参考】24年9月末

(単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	賞倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,385	4,385	3,196	1,189	100.00
危険債権	25,609	24,657	20,183	4,473	96.28
要管理債権	515	274	211	63	53.33
合計	30,510	29,317	23,591	5,726	96.09

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR(債券関係損益を除く)は、きらやか銀行及び仙台銀行がともに改善したことから、24年9月末比0.09ポイント改善し、79.46%となりました。



(単位:%)

		23年9月期	24年9月期	25年9月期	23年9月期比	
					23年9月期比	24年9月期比
コアOHR	2行合算	83.92	79.55	79.46	△ 4.46	△ 0.09
	きらやか銀行	76.87	75.21	75.19	△ 1.68	△ 0.02
	仙台銀行	96.32	86.71	86.03	△ 10.29	△ 0.68

9. 平成26年3月期 業績予想及び配当方針

(1) じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成26年3月期の連結業績予想は、経常利益40億円、当期純利益34億円を見込んでおります。
 ○ じもとホールディングスの平成26年3月期中間配当金は、1株あたり2円をお支払いいたします。
 また、期末配当金につきましては、1株あたり2円を予定しております。

(単位:百万円)

	平成26年3月期	(参考) 平成25年3月期 実績
経常利益	4,000	2,036
当期純利益	3,400	1,950

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円00銭	2円00銭	4円00銭
(参考)平成25年3月期	-	1円50銭	1円50銭

(2) 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
 ○ 仙台銀行単体ベースでは、経常利益26億円、当期純利益19億円を見込んでおります。

① きらやか銀行

(単位:百万円)

	平成26年3月期	(参考) 平成25年3月期 実績
経常利益	2,200	1,143
当期純利益	2,000	1,073

② 仙台銀行

(単位:百万円)

	平成26年3月期	(参考) 平成25年3月期 実績
経常利益	2,600	2,429
当期純利益	1,900	2,350